

# 教育ネットワークセンターの誕生に当たって

教育ネットワークセンター長 本郷 一夫

平成 18 年 12 月 20 日に教育ネットワークセンターが誕生しました。このセンターは、現代社会のニーズに応えた研究を推進するために、平成 12 年度に教育学研究科内に設置された教育ネットワーク研究室を改組、拡充したものです。

教育ネットワークセンターには 4 つの部門が置かれています。

〈研究プロジェクト部門〉では、先端的研究プロジェクトを中心とした研究の推進を支援しています。教育学研究科の教員と他大学の教員や教育委員会の方などと連携し、毎年 4 件の先端的研究プロジェクトが実施されています。

〈地域教育支援部門〉では、コンサルテーション事業や学校ボランティアなどの事業を通して、地域における教育の支援と支援方法の開発研究を支援しています。このうちコンサルテーション事業については、平成 18 年度は、従来からの「発達相談・支援」に加えて「学校マネジメント」「教育実践・教育経営サポート」「教師に対する小学校理科についての援助法の提供」など 6 件の事業が展開されています。

〈国際交流部門〉では外国の大学との学術交流や国際シンポジウムを実施しています。平成 18 年 8 月にはカリフォルニア大学ロサンゼルス校の CRESST (National Center for Research on Evaluation, Standards, and Student Testing) と協定を結び、部局間協定校もイギリス、中国、韓国の大学など 6 機関となりました。また、東北 6 県と新潟の教育委員会の方を招いて 7 月に行われた「東北高校教育懇談会」を発展させ、平成 19 年 3 月にはアメリカ合衆国から教員を招き、「高校教員の日米比較・プログラム」と題する国際シンポジウムを開催しました。

〈研究・教育支援部門〉では、コンピューター実習室の管理運営、LAN・ホームページの管理、年報の発行など学生や教員の研究・教育を支える環境を整備しています。

今後は、このようなセンターの機能を一層充実させ、社会との連携を通して、人々や人々を取り巻く環境への支援と支援方法に関する研究を推進するとともに、学生や教員の研究・教育活動をサポートしていきたいと考えています。

なお、これまでの「教育ネットワーク研究室年報」は「教育ネットワークセンター年報」と改題して発刊いたします。これまでと同様に御活用いただければと思います。